

こっこめ通信 12 2003

「へゴ自生北限地帯」号



八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年も残すところ12月だけとなってしまいました。今年を振り返ってみると色々な事がありました。オオハクチョウやケイマフリ、シラオネツタイチョウなど珍しい鳥がやってきたり、2月と3月には八丈富士に雪が積もった事もありました。梅雨が長く夏が短かった年でもありました。でも今年の一番は9月に接近した台風でしょうか？かなり大きな被害でした。さて、来年はどんな年になるのでしょうか？

今月は「秋から冬の花」「北限のへゴ」などのお話しです。

秋から冬へ季節の変化

秋から冬にかけて八丈島で見られる植物たち
さて、何の花か分かるかな？（答えは3ページ目にあるよ）



「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

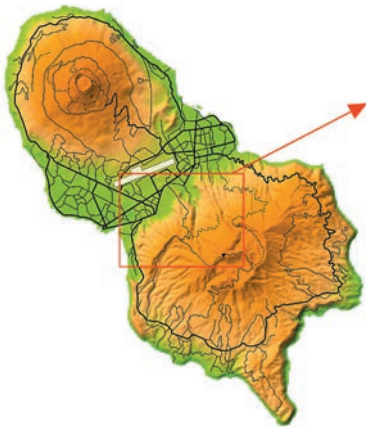
畔上能力さんを招いての観察会



出発前のレクチャールームにて

11月9日、植物研究家の畔上能力さん^{あぜがみ ちから}を講師に招き、「北限のヘゴを訪ねて」が行われました。畔上さんは八丈島の植物に詳しく、図鑑などの解説なども書かれています。広報が足りなかったため参加者は13名とすこし少なく残念でしたが、畔上さんの話が良く聞こえて参加者には良かったかもしれません。

参加者はビジターセンターに集合した後、畔上さんのお話をすこし聞いたあと、車で鴨川林道まで移動しました。今回のコースは鴨川林道約3kmの距離（下図：太線）をのんびりと歩き



台風の影響が残る大川にて

ながら色々な植物の見分け方や島らしい植物を畔上さんの解説を聞きながら観察しました。途中参加者から「クマザサですか？」と質問があり、クマザサとハチジョウスズダケの違いなどの説明もありました。

鴨川林道の終点、大川流域は今回の目玉のヘゴ自生地でもあります。9月の台風15号の影響で、あまり上流には行く事ができませんでしたが、川沿いの両壁には木のような木生シダ「ヘゴ」を観察する事ができました。昼食後、同じ林道を引き返し、6kmの道のりを4時間かけて歩きました。

林道沿いには、前のページで紹介した「ハチジョウアキノキリンソウ」や「ツワブキ」「センブリ」など秋の花がいろいろと咲いていました。今年はたくさんの種類で花の付きが良く、ツワブキも例年以上にたくさんの花が咲いているように思えました。

今回のように講師を呼んで開催される行事は年に数回行われています。次回の予定はまだ未定ですが今回のように楽しい行事を企画したいと思いますので楽しみにしていて下さい。行事の予定などはホームページからもご覧になれますよ。



あそこにヘゴが・・・指しているのは解説員の菊池

ヘゴ自生北限地帯

八丈島では大賀郷字鴨川山（鴨川流域）、三根字成沢山（大川流域）、三根字ナン沢の3カ所が大正15年10月27日「ヘゴ自生北限地帯」として、国の天然記念物に指定されています。ヘゴ自生北限地帯としては他に、鹿児島県（肝属群根占町・内之浦町・川辺郡笠沙町・薩摩群里村・上甑村・下甑村）、宮崎県（日南市宮浦）、長崎県（南松浦郡玉之浦町・福江市）が天然記念物に指定されています。

これらの指定されている地域の中で緯度で考えると八丈島がもっとも北に位置しています。



「北限のシダを訪ねて」で観察した大川のヘゴ

ヘゴはシダ植物の仲間ですが、茎が直立して高く伸び、木のような姿になります。ヘゴの仲間には数種類ありますが、ヘゴ (*Cyathea spinulosa*) の孢子嚢群は包膜に包まれているので他の種類と区別が付ききます（写真左下）。

八丈島にはヘゴの他、クロヘゴの記録はありますがビジターセンターでは確認できていません。（植物公園内のヘゴは、島の他の場所のヘゴを移植したものです。）

八丈島にはシダ植物の仲間がとても多いですが、これは小さな孢子が南寄りの強風に乗って渡ってきたものと思われます。気温や雨量などの環境も適していたのでしょうね。



薄い包膜に包まれている孢子嚢群



包膜が破れ孢子嚢が現れ
中から孢子が出た状態



葉を大きく広げた鴨川のヘゴ

天然記念物とは、「動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、わが国の自然を記念するもの」として文化財保護法によって定められたものです。八丈島では他に種として指定されている「アカコッコ」「カラスバト」「イイジママシクイ」「カンムリウミスズメ」「ムラサキオカヤドカリ」「ナキオカヤドカリ」が生息しています。

表紙の答え

上左：ハチジョウアキノキリンソウ 上右：ツワブキ
中左：センブリ 中央：イズノシマダイモンジソウ 中右：ノコンギク
下左：ヤクシソウ 下右：イソギク

2003 12

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 1 12 : 05 04 : 13 22 : 35 18 : 12	2 12 : 56 05 : 24 19 : 32	3 00 : 56 06 : 43 13 : 36 20 : 19	4 02 : 27 07 : 51 14 : 10 20 : 54	5 03 : 26 08 : 46 14 : 42 21 : 26	6 ガイドウォーク 04 : 11 09 : 31 15 : 12 21 : 56
大雪 7 ガイドウォーク 04 : 50 10 : 10 15 : 40 22 : 26	8 05 : 26 10 : 44 16 : 09 22 : 57	 9 06 : 01 11 : 16 16 : 37 23 : 29	10 06 : 34 11 : 46 17 : 05	11 07 : 08 00 : 01 17 : 34 12 : 16	12 07 : 42 00 : 35 18 : 04 12 : 48	13 ガイドウォーク 08 : 19 01 : 10 18 : 37 13 : 24
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 08 : 59 01 : 49 19 : 16 14 : 10	15 09 : 44 02 : 32 20 : 09 15 : 12	16 10 : 35 03 : 22 21 : 31 16 : 37	 17 11 : 29 04 : 22 23 : 33 18 : 08	18 12 : 22 05 : 36 19 : 17	19 01 : 30 06 : 55 13 : 11 20 : 11	20 ガイドウォーク 02 : 55 08 : 08 13 : 57 20 : 59
21 ガイドウォーク 特別行事 「リースを作ろう」 04 : 01 09 : 11 14 : 40 21 : 44	冬至 22 04 : 57 10 : 04 15 : 23 22 : 28	 23 ガイドウォーク 05 : 48 10 : 52 16 : 05 23 : 13	24 06 : 36 11 : 36 16 : 48 23 : 57	25 07 : 21 12 : 18 17 : 32	26 08 : 02 00 : 40 18 : 15 12 : 59	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「中之郷のお餅つき」 08 : 40 01 : 22 18 : 59 13 : 43
28 ガイドウォーク 09 : 16 02 : 02 19 : 45 14 : 31	29 09 : 50 02 : 40 20 : 38 15 : 28	 30 10 : 25 03 : 18 21 : 51 16 : 40	31 11 : 02 03 : 58 23 : 52 18 : 04		 この色の日は 特別行事があります	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう
12 / 14 (13 : 30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名

特別行事

「リースを作ろう」

毎年恒例のリース作り。島の素材を使ってリースを作ります。
12 / 21 (13 : 30 ~ 約1時間半)
小学生以上 (低学年は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 10 名

八丈学講座

「中之郷のお餅つき」

毎月行っている八丈学講座。今回は、中之郷のつき方でお餅つきをします。
12 / 27 (13 : 30 ~ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費 : 200 円 定員 : 15 名

特別行事

「体験・八丈太鼓」

年末恒例の体験八丈太鼓。聞くのもよし、叩くのもよし。
12 / 29 ~ 1 / 3 いつでも (開館時間内 9 : 00 ~ 16 : 30) ・だれでも
ビジターセンターの玄関前 無料

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2003.12.1 第31号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 30 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

(ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます)

編集後記

今年も後1ヶ月、あっという間の一年でした。来年はどんな年になるのでしょうか？来年もがんばって「こっこめ通信」作ります。年末年始、太鼓たたきにきてください！(高)